

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 日本ケミカルリサーチ株式会社

コード番号 4552 URL <http://www.jcrpharm.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼社長

(氏名) 芦田 信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 萬谷 哲志

TEL 0797-32-8591

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,286	31.9	345	—	377	—	253	—
21年3月期第1四半期	2,492	—	△276	—	△178	—	△188	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	9.62	9.61
21年3月期第1四半期	△6.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	26,023	17,009	65.0	644.64
21年3月期	24,767	16,984	68.2	635.20

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 16,904百万円 21年3月期 16,879百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期 連結累計期間	6,000	15.9	150	—	170	—	110	—	4.19
通期	12,300	1.8	590	8.0	590	△8.1	340	△37.0	12.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 【注】詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。】

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

【注】詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。】

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	27,784,654株	21年3月期	27,784,654株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,562,232株	21年3月期	1,210,382株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	26,332,489株	21年3月期第1四半期	27,020,226株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力製品である遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト」が前年同期比1億28百万円増の21億63百万円の売上を達成した他、血栓溶解剤原体などの尿由来製品、抗がん剤原体なども好調に推移し、医薬品事業の売上高は前年同期に比べ8億2百万円増加し31億97百万円となりました。一方、医療用・研究用機器事業については、前年同期比8百万円減少し88百万円の売上高となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同期に比べ7億94百万円増加し32億86百万円となりました。

損益面におきましては、売上の増加に加えて販売費及び一般管理費が前年同期に比べ1億40百万円減少し19億15百万円となったことにより営業利益が3億45百万円（前年同期は2億76百万円の損失）、経常利益が3億77百万円（前年同期は1億78百万円の損失）、四半期純利益は2億53百万円（前年同期は1億88百万円の損失）となりました。なお、販売費及び一般管理費が前年比で減少した主要因は、昨年11月に製造販売承認申請を行った腎性貧血治療薬「遺伝子組換えエリスロポエチン」の臨床試験に係る費用が大幅に減少し、研究開発費が前年同期に比べ2億77百万円減少したことによります。

なお、事業の種類別セグメントの各売上高の状況は次のとおりであります。

事業の種類別セグメント別売上高

事業の種類別セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		増減
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
医薬品事業	2,395,180	96.2	3,197,880	97.3	802,699
医療用・研究用機器事業	97,003	3.8	88,526	2.7	△8,476
合計	2,492,184	100.0	3,286,407	100.0	794,222

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は260億23百万円（前連結会計年度末比12億56百万円増）、負債合計は90億13百万円（前連結会計年度末比12億31百万円増）、純資産合計は170億9百万円（前連結会計年度末比25百万円増）となりました。

流動資産では、現金及び預金ならびに有価証券が減少した一方、売上債権、たな卸資産、ならびに信託受益権が増加したことなどにより、流動資産合計は前連結会計年度末に比べ5億75百万円増加して148億10百万円となりました。

固定資産では、設備投資による有形固定資産の増加、および投資有価証券の増加などにより、固定資産合計は前連結会計年度末に比べ、6億80百万円増加して112億13百万円となりました。

流動負債では、原材料等の仕入債務および設備投資にかかる未払金が増加したことなどにより、流動負債合計は前連結会計年度末に比べ12億35百万円増加して57億29百万円となりました。

固定負債では、リース債務が増加した一方、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4百万円減少して32億84百万円となりました。

純資産の部では、四半期純利益およびその他有価証券評価差額金の増加が、自己株式の取得および配当金による減少を上回ったことなどにより、純資産合計は前連結会計年度末に比べ25百万円増加して170億9百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億48百万円増加して、58億69百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、35百万円（前年同四半期連結会計期間比1億35百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上額3億90百万円、減価償却費の計上額1億74百万円、仕入債務の増加額3億77百万円があった一方で、売上債権の増加額7億96百万円、たな卸資産の増加額4億24百万円が計上されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、5億82百万円（前年同四半期連結会計期間比3億円減）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出1億円、投資有価証券の取得による支出1億95百万円があった一方で、定期預金の払戻による収入8億円、有価証券の償還による収入2億円が計上されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億12百万円（前年同四半期連結会計期間比3億円減）となりました。これは主に、配当金の支払額1億4百万円、自己株式の純増額1億32百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表いたしました平成22年3月期（第2四半期累計期間及び通期）の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(表示方法の変更)

当第1四半期連結会計期間
(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりましたが「貸付による支出」は重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間から区分掲記することに変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「貸付による支出」は5,000千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,465,592	2,032,785
受取手形及び売掛金	3,796,636	3,000,487
有価証券	3,261,974	3,919,851
商品及び製品	1,168,981	1,352,911
仕掛品	1,223,281	822,692
原材料及び貯蔵品	1,225,975	1,038,937
その他	2,668,486	2,067,438
貸倒引当金	△287	△178
流動資産合計	14,810,642	14,234,926
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,495,170	3,492,049
その他(純額)	4,399,421	3,942,989
有形固定資産合計	7,894,591	7,435,038
無形固定資産	67,522	59,336
投資その他の資産		
投資有価証券	2,732,989	2,503,379
その他	698,326	714,756
貸倒引当金	△180,250	△180,250
投資その他の資産合計	3,251,065	3,037,885
固定資産合計	11,213,179	10,532,261
資産合計	26,023,821	24,767,187
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,186,623	808,920
短期借入金	1,547,200	1,547,200
未払法人税等	144,252	33,574
賞与引当金	316,819	198,783
役員賞与引当金	46,875	37,500
その他	2,487,808	1,867,648
流動負債合計	5,729,578	4,493,627
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	815,200	832,000
退職給付引当金	39,010	46,872
その他	430,172	409,973
固定負債合計	3,284,382	3,288,846
負債合計	9,013,961	7,782,473

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,504,866	7,504,866
資本剰余金	8,411,596	8,411,316
利益剰余金	1,594,420	1,474,082
自己株式	△648,469	△515,545
株主資本合計	16,862,415	16,874,721
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,275	△38,327
繰延ヘッジ損益	△42,223	△18,751
為替換算調整勘定	81,587	62,265
評価・換算差額等合計	41,639	5,186
新株予約権	100,000	100,000
少数株主持分	5,805	4,805
純資産合計	17,009,860	16,984,713
負債純資産合計	26,023,821	24,767,187

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,492,184	3,286,407
売上原価	712,571	1,025,154
売上総利益	1,779,613	2,261,252
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	2,056,365	1,915,474
営業利益又は営業損失(△)	△276,752	345,778
営業外収益		
受取利息	16,086	11,472
受取配当金	9,602	9,592
保険返戻金	—	24,542
研究開発負担金収入	90,000	—
その他	5,683	4,492
営業外収益合計	121,372	50,099
営業外費用		
支払利息	17,155	16,036
その他	6,083	1,908
営業外費用合計	23,239	17,944
経常利益又は経常損失(△)	△178,619	377,933
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13,914
特別利益合計	—	13,914
特別損失		
固定資産処分損	679	1,673
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	3,600	—
特別損失合計	4,279	1,673
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△182,898	390,174
法人税、住民税及び事業税	2,694	133,560
法人税等調整額	3,815	3,126
法人税等合計	6,509	136,687
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△789	278
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△188,619	253,209

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△182,898	390,174
減価償却費	103,303	174,824
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△13,818
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,604	109
賞与引当金の増減額(△は減少)	121,407	118,036
受取利息及び受取配当金	△25,688	△21,065
支払利息	17,155	16,036
為替差損益(△は益)	△806	9,595
売上債権の増減額(△は増加)	△72,522	△796,149
たな卸資産の増減額(△は増加)	△282,732	△424,199
仕入債務の増減額(△は減少)	411,675	377,702
未払金の増減額(△は減少)	△114,529	124,515
その他	132,880	14,152
小計	110,848	△30,085
利息及び配当金の受取額	27,055	25,428
利息の支払額	△11,342	△10,516
役員退職慰労金の支払額	△12,080	△6,080
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,466	△14,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,015	△35,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	800,000
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の償還による収入	900,000	200,000
信託受益権の取得による支出	△142,958	—
信託受益権の償還による収入	235,160	—
有形固定資産の取得による支出	△88,230	△93,665
投資有価証券の取得による支出	—	△195,500
貸付けによる支出	—	△50,000
長期前払費用の取得による支出	△3,601	△4,106
その他	△17,351	26,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	883,017	582,768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△540,000	—
長期借入金の返済による支出	△16,800	△16,800
セール・アンド・リースバック取引による収入	174,883	—
リース債務の返済による支出	△124,461	△58,731
自己株式の純増減額(△は増加)	△818	△132,643
配当金の支払額	△105,373	△104,194
その他	△764	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△613,333	△312,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,518	13,533
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	357,180	248,566
現金及び現金同等物の期首残高	4,984,788	5,620,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,341,968	5,869,090

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(重要な後発事象)

会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成21年7月9日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式の取得を決議いたしました。

- | | |
|-------------|--|
| ① 取得の理由 | 経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を可能とするため。 |
| ② 取得の方法 | 平成21年7月9日の終値681円で、平成21年7月10日午前8時45分の大阪証券取引所のJ-NET市場での自己株取得取引による取得。 |
| ③ 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ④ 取得する株式の総数 | 2,200,000株(上限) |
| ⑤ 取得価額の総額 | 1,498,200千円(上限) |
| ⑥ 取得の時期 | 平成21年7月10日 |

上記決議に基づき、平成21年7月10日に取得した自己株式は下記の通りであります。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 取得した株式の総数 | 2,170,000株 |
| ② 取得価額の総額 | 1,477,770千円 |